

# 一立 大連市議会だより

2007  
**8.1**  
No. **117**  
TENDO



6月28日、山口小学校の児童の皆さんは、地域の自然や文化などのすばらしさを再発見する「ふるさと発見活動」を行いました。1年生から6年生までいっしょになったグループ（15～16人）をつくり、探検する場所を決めました。この写真は、田麦野の高原の里交流施設「ぼんぼこ」の裏山（伊豆神社のとおり）で、地域の先生から熱心に説明を受けているようすです。

6  
月  
定  
例  
会

消 防 団 の 活 性 化 策 は …… 一般質問(P 2～6)

指 定 管 理 者 導 入 の 問 題 点 は …… 総括質疑(P 8～9)

委 員 会 条 例 を 改 正 し 3 常 任 委 員 会 に …… 特 集 ⑧(P11)



# 市政に対する一般質問

市政に対する一般質問は、6月11日、12日の2日間の日程で、12人の議員が行いました。消防団の活性化や図書館の指定管理者制度の導入などについて、市長、教育長の見解を求めました。



## 学校給食

### 給食費未納の改善策は どうなっているか

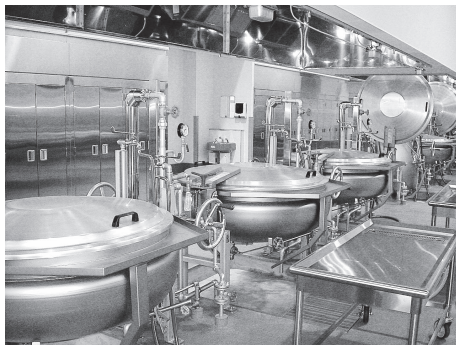


森谷仙一郎議員

市内小・中学校の給食において、2学期から新学校給食センターが稼動になるが、児童、生徒への安全な給食の提供を期待する。そんな中、本市の給食費未納状況はどのようになっていくのか。

また、未納改善策をどのように考えているのかを伺いたい。

**酒井教育長** 学校給食費の納入状況は、これまで比較的順調に納入されてきたが、近年では、一部の学校で、滞納しがちな家庭なども少し見受けられ、その対応には苦慮している。給食費をはじめとする学校集金は、学校での現金取り扱いをなるべく減らすことなどの理由から、現在は、すべての学校で、口座振替など、現金を取り扱わない集金方法をとっている。



2学期から稼働の新学校給食センター

未納や滞納などの問題が生じた場合、学校ではその都度家庭に連絡し、督促している。文書による連絡でも保護者が納入に応じない場合は、担任や管理職が家庭を訪問し、納入のお願いをしている。顔の見えない集金方法がモラルの低下を招いているともいわれているので、集金方法の変更なども含め、改善策を検討していきたい。

## 質問者と

## 質問事項

(☆印は会派名)

### ☆つばさ

森谷仙一郎議員

\*果樹振興策について

\*学校給食について

\*児童館給食について

\*給食費未納問題について

☆日本共産党天童市議団

石垣昭一議員

\*地域消防団の活性化と女性消防団員の採用について

\*周辺主要道路での歩道整備について

伊藤和子議員

\*市立図書館の指定管理者制度導入について

\*障がい児教育の実態と対応策について

\*望ましいコミュニティのあり方を研究・検討することについて

### ☆政和会

高橋 博議員

\*都市計画道路山形老野森線の整備促進について

\*健やかな成長を願う子育て

支援について  
\*若者に魅力ある天童について

小松善雄議員

\*市民の安全に万全を期する大規模災害対策について

後藤和信議員

\*市制施行50周年記念事業について

\*地域交通活性化について

佐藤正男議員

\*選挙について

結城義巳議員

\*介護保険制度について

\*緑環境税について

木村竹虎議員

\*本市の子育て支援への取組みについて

☆天新会

山口桂子議員

\*「健康てんどう21行動計画」の進捗状況はどうなっているか

武田達郎議員

\*自治会活動保険について

伊藤護國議員

\*まちづくりの基本について

\*天童高原の再開発について

## 女性団員の採用など

## 消防団の活性化策は



石垣昭一議員

要であると思うが、女性消防団員の採用を含め、消防団の活性化策を伺いたい。

消防団の運営に影響を及ぼしている。適正な規模の活力ある消防団の確保をいかに図るのか。特定の活動や大規模災害などに限定して参加する機能別団員・分団の積極的活用が必

要であると思うが、女性消防団員の採用を含め、消防団の活性化策を伺いたい。

遠藤市長 現在の消防団員数は、定員1063人に対して9人の欠員である。地域防災の要である消防団員の確保は、優先課題として取り組む必要があると認識している。消防団の活性化のために

は、消防出初式や防災訓練などを実施する際のマスコミへの積極的な情報提供、広報媒体を活用した消防団員の加入促進、市内の事業所に対する働きかけなどを行い、団員の加入促進に努めている。

女性消防団員の役割としては、消火器の取り扱い、ひとり暮らし高齢者宅への防火訪問などがあるが、女性の社会進出や高齢化に伴い職場や家族の理解が必要ことから、採用には今後十分検討する必要があると考えている。

## 安心な子育て支援

## 若者の雇用環境の充実を



高橋 博議員

今日の格差拡大による不安定な社会情勢の中で、特に少子化が進んでいる状況である。若者の雇用環境づくりが必要とされる中で、安心な子育て支援と雇用環境づくり、健やかな子ども

の成長を見守る地域を、どのように

遠藤市長 平成17年に、「安心な子育てを基本目標に、児童市次世代育成支援行動計画を策定し、少子化に対応する諸施策を推進している。子育てしやすい社会を実現するためには、行政のみならず、家庭や学校、地域、企業など、社

会全体の連携が不可欠である。今後とも、乳児保育や一時保育サービス等をはじめ、ファミリーサポートセンターや放課後児童健全育成事業の充実に努める。さらに、事業者に対し、仕事と育児の両立を支援する各種制度について周知を図るなど働きやすい労働環境づくりを推進していく。

また現在、新たな工業団地の整備を進めており、若者のみならず求職者に対して、新たな就業の場を確保していく考えである。

## 指定管理者導入は文科省の

## 基準を踏まえているか



伊藤和子議員

文科科学省の「これから図書館像」の図書館像」

「公立図書館の望ましい基準」などを踏まえた上で、指定管理者制度の導入を考えているのか。

無料原則から制度導入のメリットはなく、3～5年で更新される点では専門的な知識や技術の蓄積が図れるか。また、他の図書館との連携も不

可欠だが。

酒井教育長 平成17年の社団法人日本図書館協会の提言では、公立図書館への指定管理者制度の適用は、基本的にはなじまないとの見解だ。文部科学省では、図書館、博物館等の社会教育施設について、住民サービスの向上を図る観点から、地方公共団体が指定管理者制度を適用するか否かを判断するものであるとしており、市の判断に委ねられている。

図書館協議会の委員、利用者の意見などを総合的に判断し、市民サービスのさらなる向上を第一義に考え、指定管理者制度の導入を図るものである。また、図書館運営の根幹をなす運営方針や図書購入の決定、図書資料の購入などについては、これまでと同じように教育委員会が責任を持つて対応し、公平性を確保していく。



指定管理者制度導入予定の市立図書館



## 危機管理意識の啓蒙と

### 万全な対策を



小松善雄議員

政府の地震調査委員会によると、本県

内陸部の山形盆地断層帯は、長さが最上川沿いに南北60キロで、今後30年以内にマグニチュード7から8ほどの大地震の発生予測は、7%の確率である。5年前に集約された県

の被害想定調査の発表を重く受け止め、住宅耐震化の相談窓口を設置したが、災害危機意識の啓蒙など、市民の安全に万全を期する災害対策について伺いたい。

**遠藤市長** 本市では、住宅の耐震化を推進するため、平成8年に耐震相談窓口を設置し、耐震診断・改修について

の情報を提供するなど、必要な助言を行っている。

地域防災計画では、山形盆地断層帯による被害想定に基づき、災害予防計画や災害弱者に対する支援体制などについて定めている。

また、大規模な災害対応として、食料、毛布などの生活物資の備蓄に取り組むとともに、防災パンフレットの全戸配布や総合防災訓練を通して、今後とも関係機関相互の協力体制の強化と、地域住民の防災意識の高揚を図っていく。

## 投票所の閉鎖時間を

### 繰り上げる考えは

佐藤正男議員

投票時間が2時間延長されたが、投票

率が向上したとは言い難い。

期日前投票制度が創設されるなど、投票日当日を補完する制度も充実してきた。

投票作業従事者の負担軽減と、有権者に結果を早く知

らせるため、投票所の閉鎖時間を繰り上げる考えはないか。

**水戸部選挙管理委員長** 投票

時間の繰り上げについては、公職選挙法の規定により、投票所が遠距離で、開票時間間に合わないなど、特別の事情のある場合と定められており、本市は、法律で定められた時間に実施している。

しかし、平成16年からの期日前投票制度の実施で、有権者への利便性が格段に高められ、投票時間の終了を繰り上げて有権者への影響は少ないものと考えている。

投票時間の繰り上げを望む声が高まってきており、本市を含む全国市区選挙管理委員会東北支部で、全国市区選挙管理委員会連合会に申し入れをしている。この要望が全国的な運動展開となり、法律改正に結びつくかどうか、推移を見守っているとところである。

## 観光施設間の

### 二次交通の充実を



後藤和信議員

天童市を訪れる観光客も

少人数化が進んでいる。観光施設間が離れていることで不便をかけている。来年の市制施行50周年、若松寺1300年祭、仙台・宮城・デスティネーションキャンペーン等で、広域観光の利点を生かした取り組みが予想される。観光施設間を循環できる二次交通の充実を図るべきではないか。

**遠藤市長** 本市では、県外、特に仙台圏からの誘客を図るために、宮城県仙台市や松島町ほか7市町村で構成する「仙台まるごとパス」協議会に加入している。

この事業は、国土交通省の補助制度である「公共交通活性化総合プログラム」を活用したもので、仙台を中心に日本三景の松島や山寺を含む広域エリアを、1枚2500円の共通フリー乗車券で、域内の鉄道やバスを2日間自由に乗り降りできるといものである。

また、今年の10月には仙台・宮城・デスティネーションキャンペーンが開催される。天童温泉協同組合では、仙台圏や山寺からの観光客を天童に呼び込むために、10月から12月まで、山寺駅と天童温泉を結ぶ二次交通として、観光馬車を毎日運行させることを計画している。



現在、観光馬車は土・日・祝日に運行

## 幼保一元化に

### 取り組むべきでは



木村竹虎議員  
市立保育園  
を民間に委託  
し、児童の環

境を平等にするためにも、施設の建て替えやサービスの充実を早急に図り、幼保一元化に取り組むべきと思う。

また現在、認可外保育施設とその施設を利用している保

護者への市の支援が不十分であると思われるが、市長の考えを伺いたい。

遠藤市長 市内には、幼稚園、保育園、児童館、認可外保育施設が合わせて31施設ある。保育園と児童館以外はすべて独自に保育料を設定している。保育園と児童館の保育料については、保護者の所得

等に基づき、各家庭の状況に応じた負担になっている。

各施設では、それぞれの特色を生かしながら、2200

人の乳幼児の教育と保育の役割を担っているもので、直ちに一本化を図らなければならぬ環境にはないものと考えている。

本市では、乳幼児数による加算や障がい児保育に対する加算など、市独自の補助を行い、認可外保育施設の運営支援に努めている。

## 生活習慣病予防など

### 予防重視の指導は



山口桂子議員  
健康でんどう21行動計画  
における生活

習慣病予防や介護予防の推進など「予防重視」の取り組みの中で、メタボリックシンドローム予防への保健指導はどのようになっているか。また、「健康重視」の中で、禁煙運動が

進められているが、公共施設での分煙、禁煙はどのように進んだのか。

遠藤市長 市では、健康診断の結果にもとづき、健診後の健康相談や個別健康教室を開催し、生活習慣改善をめざした食生活や運動など、個々に応じた指導を行っている。また、一般市民を対象とした健

康セミナーや運動教室などを開催し、一次予防に重点をおいた健康づくりを進めている。

本市では公共施設の分煙・禁煙に、平成15年の健康増進法の施行以来取り組んできた。

平成19年6月現在、敷地内全面禁煙は、小中学校など18

施設、建物内全面禁煙は51施設、完全分煙は6施設、不完

全分煙は7施設となっており、全体の分煙率は91%となっている。今後とも、受動喫

煙防止策の推進を図っていく考えである。

## 制度改正で

### どのような問題があるか



結城義巳議員  
介護保険に  
ついて、平成  
18年4月に制

度改正があった。「要支援2」が追加され、介護認定区分が6段階から7段階になるなど、大きな改正であった。介護予防と地域包括ケアを推進することが大きな柱となっているが、この制度改正によってどのような問題が生じているか。

遠藤市長 平成18年の介護保険制度改正は、要支援、要介護1の軽度者が急増したこと、介護予防効果をあげるため、新たな認定方式により要支援者に対するサービス内容を見直したものである。

特に、要支援者と要介護者では、利用サービスの内容とケアプランの窓口が異なっているため、制度改正の趣旨、サービス利用方法等について周知徹底を図り、サービスの



介護相談窓口となっている  
地域包括支援センター

円滑な利用を進めていきたい。また、施設介護から在宅介護への基本的方向が示されており、さまざまなサービスを総合的・継続的に提供し、自宅での生活を支援するしくみの確立が求められている。

地域包括支援センターを拠点として、利用者一人ひとりの心身の状態にふさわしいサービスを効果的に提供し、できる限り要介護にならない、安心して暮らせる体制づくりを進めていく。



## 制定が必要



武田達郎議員  
近年、囑託  
員、隣組長、  
各種団体等の

このため、まちづくり基本条例制定の必要性等を含め、市民の意向を十分に把握するとともに、個別条例や地方自治法に規定されている制度との調整等の課題について、整理が必要であると考えている。

を進める考えはあるか。②加入町内会に保険料の補助の考えは。

遠藤市長 自治会は、自主・自立的に組織されたものであり、どのような範囲で、どのような自主活動を行うかは、住民の方々の意思で自主的に

なお、市が依頼した社会奉仕活動や市が主催し住民の方に参加する行事等については、市で、全国市長会市民総合賠償補償保険に加入している。

決められるものであり、自治会により活動内容が大きく違ってくるものと考えている。保険会社により保険内容も違ってくることから、各自自治会では、活動に見合った保険に加入するなど、それぞれ対応

また、市の行政に関わる嘱託員、嘱託補助員、環境衛生委員等の方々もすべて保険に加入している。したがって、各自治会の自主的な活動に対する保険料の補助については、ご意見として承る。



各地域で、いろんな自主活動が展開されている

6日 議会だより編集委員会  
13日 各派代表者会  
(市議選の伴走車の自粛について)  
13日 議会運営委員会  
(予算・決算議案審査に係る検討課題について)  
20日 議会だより編集委員会

# 6 月 定 例 会

平成19年度第2回定例会（6月定例会）は、6月7日から20日までの14日間の会期で開かれました。

市長提出議案である報告案件8件、人事案件1件及び決議案1件が、初日の本会議で採決されました。そのほか、平成19年度天童市一般会計補正予算をはじめ、条例案9件の計10件は、予算特別委員会及び所管常任委員会に付託され、各委員会で審査された後、最終日の本会議で採決が行われました。また、議員提案として、天童市議会委員会条例の一部改正（11ページに特集記事）など2件の採決も行われました。結果は、下記のとおりです。請願審査の結果については、10ページに掲載しています。

## 審 議 日 程

| 月 日          | 内 容                                                  |
|--------------|------------------------------------------------------|
| 6.7          | 本会議（会期の決定、提案理由の説明、予算特別委員会の設置など）<br>予算特別委員会（予算議案概要説明） |
| 6.11<br>6.12 | 本会議（市政に対する一般質問）                                      |
| 6.13         | 本会議（一般議案に対する総括質疑）<br>予算特別委員会（予算議案に対する総括質疑）           |
| 6.14         | 各委員会（分科会）審査                                          |
| 6.20         | 予算特別委員会（各分科会委員長報告、質疑、採決）<br>本会議（委員長報告、質疑、討論、採決）      |

## 提 出 さ れ た 議 案 と そ の 結 果

### （市長提出議案）

| 議案番号            | 件 名                                    | 結果   |
|-----------------|----------------------------------------|------|
| 報第3号            | 平成18年度天童市都市計画公共下水道事業特別会計予算繰越明許費の報告について | 報告   |
| 報第4号            | 平成18年度天童市老野森土地区画整理事業特別会計予算繰越明許費の報告について | 報告   |
| 報第5号            | 平成18年度天童市介護保険特別会計予算繰越明許費の報告について        | 報告   |
| 報第6号            | 天童市土地開発公社の経営状況並びに事業計画の報告について           | 報告   |
| 報第7号            | 財団法人天童市牧野公社の経営状況並びに事業計画の報告について         | 報告   |
| 報第8号            | 財団法人天童市文化・スポーツ振興事業団の経営状況並びに事業計画の報告について | 報告   |
| 報第9号            | 株式会社スポーツクラブ天童の経営状況並びに事業計画の報告について       | 報告   |
| 報第10号           | 平成18年度天童市情報公開条例の運用状況の報告について            | 報告   |
| 報第11号<br>（追加議案） | 交通事故に係る損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について       | 報告   |
| 議第2号            | 平成19年度天童市一般会計補正予算（第1号）                 | 原案可決 |
| 議第3号            | 天童市特別職に属する者の給与に関する条例の一部改正について          | 原案可決 |
| 議第4号            | 天童市特別職の職員に対する退職手当の支給に関する条例の一部改正について    | 原案可決 |

| 議案番号  | 件 名                            | 結果   |
|-------|--------------------------------|------|
| 議第5号  | 天童市わらべ館の設置及び管理に関する条例の一部改正について  | 原案可決 |
| 議第6号  | 天童市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について     | 原案可決 |
| 議第7号  | 天童市学校施設使用条例の設定について             | 原案可決 |
| 議第8号  | 天童市立公民館設置及び管理に関する条例の一部改正について   | 原案可決 |
| 議第9号  | 天童市市民文化会館設置及び管理に関する条例の一部改正について | 原案可決 |
| 議第10号 | 天童市立図書館設置及び管理に関する条例の一部改正について   | 原案可決 |
| 議第11号 | 天童市西沼田遺跡公園の設置及び管理に関する条例の設定について | 原案可決 |
| 議第12号 | 天童市情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱について     | 同意   |

### （議員提出議案）

| 議案番号   | 件 名                           | 結果   |
|--------|-------------------------------|------|
| 決議案第1号 | 暴力の根絶と安全・安心なまちづくり推進に関する決議について | 原案可決 |
| 議会案第1号 | 天童市議会会議規則の一部改正について            | 原案可決 |
| 議会案第2号 | 天童市議会委員会条例の一部改正について           | 原案可決 |



# 総括質疑

6月13日、提出された議案に対し、各常任委員会での審査に入る前に、総括的な質疑を行いました。質疑の主な内容は、次のとおりです。

## 質疑者一覧

（本会議）

◆ 厚生常任委員会

伊藤和子

◆ 建設常任委員会

石垣昭一

◆ 総務常任委員会

結城義巳

◆ 【議第11号天童市西沼田遺跡公園の設置及び管理に関する条例の設定について】の質疑

西沼田  
遺跡公園

## 指定管理者導入

## における問題点は

伊藤（和）議員

供用開始と

ほぼ同時に指定管理者による管理となるが、設置者としてどう関わるのか。休園日を月曜日としているが、理・美容者からは、利用できないとの苦情も聞かれる。他の曜日は考えられないか。また年間入館料を500円と定めているが、その根拠は。

安喰教育次長

指定管理者による管理移行後は、天童市西



平成20年4月オープンとなる西沼田遺跡公園

沼田遺跡公園の指定管理者の管理運営に関する仕様書に基づき、教育委員会が管理運営、調査研究、企画展示、体験学習やイベントの実施などについて、指定管理者と連絡調整を密にとりながら、積極的に必要な指導助言を実施していきたい。

また、遺跡公園の活用において、土、日曜日を中心に、児童・生徒や市民参加型の体験学習、イベントの実施を考えているため、月曜日を休園とするものである。全国的にも類似施設は月曜日を休園・休館日にしており、それが一般的であり、認知されている。年間入館料の設定は、市美術館の年間入館料を常設展の5回分に設定しており、これを参考に一回当たりの一般入館料が100円なので年間500円と設定した。

減額免除団体となっている。このため、指定管理者制度に移行した場合でも収入面でのメリットはあまり大きくないと考えられ、中央公民館については、従来どおり教育委員会の許可を受けて使用するものとし、使用料は市に納入してもらおうと考えている。

ただし、中央公民館は市民文化会館と一体化した建物であり、教育委員会が策定する仕様書に基づき、指定管理者が市民文化会館の管理、業務を代行する方式をとっていく考えである。

中央公民館の運営については、指定管理者制度への移行後も、社会教育委員会において、中央公民館の運営について意見を集約し、利用者や市民の声を運営に反映させて、適正かつ効率的な運営を行っていききたい。

なお、これまで中央公民館が行ってきた、市立公民館の連絡調整や全市的に展開する事業等の実施については生涯学習課が引き続き担当していく考えである。

中央公民館

## 指定管理者の

## 管理運営について

◆ 【議第8号天童市立公民館設置及び管理に関する条例の一部改正について】の質疑

石垣議員

使用の許可について、中央公民館を指定管理者にした場合でも、教育委員会の許可となるのか。また中央公民館の運営については、公民館運営審議会を置かず

に社会教育委員会が審議する方針

だが、指定管理者による管理とした場合の対応について伺いたい。

安喰教育次長

中央公民館の

利用団体は約2800団体で、そのうち約8割近くが社会教育法に規定する使用料の



◆【議第7号天童市学校施設条例の設定について、議第11号天童市西沼田遺跡公園の設置及び管理に関する条例の設定について】の質疑

条例の見出し

# 「趣旨」と「目的」の違いは

結城議員 天童市学校施設使用条例第1条の見出しは「趣旨」、天童市西沼田遺跡公園の設置及び管理に関する条例第1条の見出しは「目的」となっている。このように違わせなければならぬ事情があるのか。統一しても良いのではないのか。

となるものを規定するものとされている。

この学校施設条例では、学校の設置目的については上位法で既定されており、単に学校施設の貸し出しに関して必要な事項を規定しているにすぎないため、見出しを「趣旨」としている。また、西沼田遺跡公園の設置及び管理に関する条例では、何を目的にこの施設を設置するのかという市の方針を明示するために、見出しを「目的」としている。

趣旨規定については、条例がどのような事項について規定しているものかを要約して表現したもので、法律の委任に基づく条例や法律の施行のため条例に置かれる規定であり、上位法に既に一定の目的が規定されている場合は、それに基づく条例では趣旨規定とされている。

## 天童市情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱に同意

現情報公開・個人情報保護審査会委員の合田篤子氏（34歳、山形市）を後任として委嘱することに同意しました。

## 討論

6月20日の本会議において次の議案について討論がありました。

▼議第10号天童市立図書館設置及び管理に関する条例の一部改正についてⅡ賛成多数で可決

## 《反対》

国の行財政改革の指針の下、地方自治法を改正し、民間企業にも、公共サービスを開放する指定管理者制度が創設された。図書館は単に公的施設であるだけでなく、教育機関としての位置づけがある。利便性の向上として、開館時間の延長、複数の司書配置をあげているが、直営でも可能であり、合理的ではない。これからは、県や他市町村や学校の図書館などの連携・協力やネットワーク化の整備が不可欠である。民間で行うことが適切か疑問である。

また経費節減については、人件費の節減しかなく、パート、臨時、嘱託といった、非正規の労働者を雇用し人件費を削減するのが実態である。

図書館法第17条「無料の原則」で、資料や情報などのサービスを誰にでも無料で提供するのが大原則で、営利を目的とする指定管理者が管理することに自ずと無理がある。短期間で契約更新される指定管理者では、図書館の専門性や経験の蓄積が補償されない。

最初から指定管理者制度ありきではなく、これまでの問題点を見直し、さらなるサービスの充実と経費の節減を検討することも必要である。理想の図書館像を求めて、市民と行政が協働で十分に検討を重ねるべきと考え、反対とする。

## 《賛成》

この条例改正は、図書館の管理運営について、市民サービスのより一層の向上を図る目的で指定管理者制度を導入

するものである。

指定管理者になった場合、「司書の資格を持つ複数の専門職員を長期的、安定的に雇用し、これまでできなかった高度な図書相談業務や図書館利用団体等へのきめ細やかな支援、ブックトークなどの読書推進活動などにも、幅広く対応できるようにする。」「開館時間の拡大や祝日における開館が実現でき、利用者にとって大きなサービス向上となる。」「指定管理者の管理となれば管理経費の削減が期待できる。」などの理由により、行財政改革を進めようとしている本市にとって、まさに適切な方針である。

また、指定管理者に委託しても、図書館の基本的な運営方針や、図書資料購入方針の決定などの基幹となる業務については、これまでどおり教育委員会が責任をもって対応していくことや、利用者の意見、要望を聞くため、「（仮称）図書館運営協議会」を教育委員会に設置することであり、何ら問題は発生しないと考え、賛成する。

# 暴力の根絶

## 決議案を全会一致で可決

議会開会初日の6月7日に「暴力の根絶と安全・安心なまちづくり推進に関する決議」を全会一致で可決しました。

### 暴力の根絶と安全・安心なまちづくり推進に関する決議

先般、前長崎市長が暴力団員により射殺されたことは、広く国民を不安と恐怖に陥れた暴挙であり、強い怒りと憤りを禁じ得ない。また、各地において暴力団による発砲事件等が後を絶たないことや、行政機関に対して不当な要求を繰り返す「行政対象暴力」が増加しており、市民の平穏な日常生活と安全が脅かされていることは、まことに憂慮に堪えない事態である。言論を暴力によって封じようとする行動や行政の公正・中立性を阻害する行政対象暴力は極めて悪質な犯罪で、自由と民主主義に対する挑戦であり、断じて許されるものではない。

平和で明るく住みよいまちづくりは、天童市民の切実な願いであり、いかなる暴力も断じて容認することはできない。よって、天童市議会は暴力行為の根絶と暴力団追放を期し、警察当局をはじめ関係各機関との相互連携を強化し、いかなる暴力も許さない社会環境の醸成を図り、平穏な市民生活の確保と安全・安心なまちづくりを推進していくことを固く決意する。

平成19年6月7日 天童市議会

6月19日には、全国市議会議長会定期総会でも、「あらゆる暴力行為の根絶に関する緊急決議」が提案され、可決されています。

## 請願・陳情の結果

今定例会で審議された請願・陳情は3件(内継審1件)で、所管常任委員会で審査したあと、結果は次のようになりました。

| 件名                        | 提出者                       | 付託委員会 | 結果   |
|---------------------------|---------------------------|-------|------|
| 大清水橋(市道乱川矢野目線)の早期整備に関する請願 | 大清水町内会 会長 黄木孝一            | 建設    | 継続審査 |
| 水晶山広域林道の市道格上げ認定・整備に関する請願  | 田麦野地域づくり委員会 委員長 村山惣四郎 他3名 | 建設    | 採択   |
| 関の上地内道路整備と市道への格上げに関する請願   | 関の上町内会 役員 山口隆男 他2名        | 建設    | 継続審査 |

### 一般会計補正予算

(第1号)のあらまし

(単位:千円)

|          |            |
|----------|------------|
| 補正額      | 17,951     |
| 補正後の予算総額 | 17,767,951 |

#### ◆主な内容

(単位:千円)

##### ◎歳入

|           |        |
|-----------|--------|
| 道路橋梁費補助金  | 11,633 |
| 財政調整基金繰入金 | 6,318  |

##### ◎歳出

|         |         |
|---------|---------|
| 財産管理費   | △39,304 |
| 工業団地整備費 | 41,743  |
| 道路新設改良費 | 15,512  |

### 追加議案

(報告)

▼報第11号 交通事故  
故に係る損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について  
6月20日の本会議において、市有自動車の運行によって発生した交通事故に係る損害賠償の額の決定について専決処分したので、その報告を受けたものです。

## 第1回臨時会

平成19年度第1回市議会臨時会が4月26日に開催され、市長提出議案1件と報告案件2件が審議され、原案のとおり可決されました。

▼報第1号 平成18年度天童市一般会計補正予算(第5号)の専決処分の承認を求めることについて  
地方交付税等の確定及び起債同意額の決定に伴い、補正予算について専決処分をしたので、その承認を求めるもの。

▼報第2号 天童市市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて  
地方税法の一部改正に伴い、国民健康保険税について所要の改正を行ったので、その承認を求めるもの。

▼議第1号 天童市市税条例の一部改正について  
地方税法の一部改正に伴い、個人の市民税について上場株式等の譲渡所得に係る軽減税率の期限延長及び固定資産税におけるバリアフリー改修に伴う減額措置の創設を行うもの。



# 議会では⑧

今回は  
改選後の委員会等について

議員提案で2つの条例案を提出し、可決しました。

9月に行われる市議会議員選挙で議員定数が22となることや、地方自治法の改正により、委員会条例や会議規則を一部改正するものです。

議会運営委員は7人

議会運営委員会の委員定数は現行8人から1減の7人となります。

委員会でも提案権

これまで委員会に提案権はありませんでしたが、委員会にも提案権が認められます。議会でも会議録を作成し、会議録署名議員が署名をしなければなりません。電磁的記録で作成した場合、署名に代わる措置をとることになります。

篠原みゑ子議員の  
議員辞職を許可

平成19年4月26日に、篠原みゑ子議員から議長に対し、同日をもって議員を辞職したいとの議員辞職願が提出され、同日の議会本会議（臨時会）において、辞職が許可されました。

議員の辞職に伴う  
議会役職の変更

▼議会だより編集委員会  
副委員長 山口桂子  
委員 森谷仙一郎

会議規則の改正  
2人で議案提案権

地方自治法では議案の提案や修正の動議の賛成者が12人

委員会条例の改正  
常任委員会は3つに

常任委員会は現在、総務（7人）、厚生（6人）、文教・経

## 常任委員会と担当所管課

| 委員会名 | 所管部等  | 所管課等                                                              |
|------|-------|-------------------------------------------------------------------|
| 総務教育 | 総務部   | ・総務課<br>・財政課<br>・総合政策課<br>・税務課<br>・納税課<br>・危機行革管理室                |
|      | 消防本部  | ・消防課・消防署                                                          |
|      | 教育委員会 | ・教育総務課<br>・学校給食センター<br>・学校教育課<br>・生涯学習課<br>・図書館<br>・文化振興課<br>・体育課 |
|      |       | ・会計課<br>・監査委員<br>・議会<br>・選挙管理委員会<br>・固定資産評価審査委員会                  |
| 環境福祉 | 市民部   | ・健康福祉課<br>・高齢社会課<br>・児童家庭課<br>・市民課<br>・生活環境課                      |
|      | 天童病院  |                                                                   |
| 経済建設 | 経済部   | ・農林課<br>・観光物産課<br>・商工振興課<br>・工業団地整備室                              |
|      | 建設部   | ・建設課<br>・都市計画課<br>・下水道課                                           |
|      |       | ・農業委員会<br>・水道事業所                                                  |

## 議会を傍聴してみませんか

議会はどなたでも傍聴できます。市議会定例会は、6月、9月、12月、3月に行われます。傍聴席への入場は、市役所内のエレベーターも利用できます。（正面玄関よりお入りください）

9月定例会の日程（予定）は14ページに掲載しています。

また、市が開設しているインターネットのホームページ（アドレス<http://www.city.tendo.yamagata.jp/>）の「議会情報」で一般質問、総括質疑の日程等が決まり次第お知らせしています。

# 委員会 察の報告



ひめじ防災プラザにAEDの使い方を学ぶ  
建設委員

## 建設常任委員会

(5月8日～10日)

兵庫県加古川市  
兵庫県姫路市  
愛媛県松山市

全国に先駆け  
機能別消防団員を採用

「ひめじ防災プラザ」は、様々な体験を通して防災の重要性を理解し、防災に関する知識と技術を学習することを目的とした施設である。子供から大人まで、誰もが気軽に施設を利用でき、市民の防災意識の高揚に寄与している。松山市では、消防団員の高齢化・サラリーマン化が進む

加古川市では、市北部の市街化調整区域の人口が減少傾向にあり、「都市計画法」に基づく開発行為の許可の基準等に関する条例」を改正し、「田園まちづくり制度」を創設した。この制度は、集落コミュニティの維持に支障をきたしている集落において、地域住民が主体となって「田園まち

中、全国に先駆け、積極的に機能別消防団員を採用している。「郵政(松山西郵便局)消防団員」と「大学生(市内4大学)防災サポーター」の活動は大規模災害時に限定し、災害情報収集・連絡や負傷者の救護等を行う。「事業所(ネットヨタ瀬戸内)消防団員」

は、日中不在となる被雇用者団員を補完し、その活動は日中に限定されるものの、基本団員と同様、火災はじめ通常の災害に出動する。この他「女性消防団員」の採用も行っており、有事の際の即応力を確保するとともに、地域消防力の強化を図っている。

## 文教経済常任委員会

### 遊休農地を利用した農村活性化事業

山梨県甲斐市  
静岡県藤枝市

(5月15日  
～17日)

甲斐市は平成16年9月に3つの町が合併した人口約7万4000人の市で、農村活性化事業について視察した。養蚕が衰退し、桑畑を果樹園にしたが、高齢化により遊休農地となり荒廃。都市生活者が地元農家と触れ合う滞在型農園の整備を目指した。事業期間は平成15年度から3カ年。内容は市民農園整備促進法に基づき、休憩施設付き農園が一区画約300㎡で50区画、日帰り型農園、交流施設のクラブハウス、駐車場

広場併せて約6・4ヘクタールを整備。農園用地は、地権者と20年間の借地契約を結び、休憩施設は生活に支障のない設備が整っている。

農園の利用料金は、休憩施設付きの場合、入会金30万円で年会費40万円(最長5年)、日帰りは水道料込みで年間8000円である。地域の環境保全が図られ、人的交流が生まれ、都市生活者のニーズが把握できることと、評価されることで地元への誇りと生産意欲が高まるなどの効果が

みられる。藤枝市では、総合型地域スポーツクラブについて視察した。平成22年度まで3つのクラブ設立を目標に取り組んでいる。現在既に2つのクラブが設立し、3つ目も準備委員会が立ち上がっている。以前から活発だった体育振興会を移行して設立したクラブは、その後も順調でモデル的存在である。ただし自主運営、受益者負担という理念への理解が広まらないこと、クラブハウスがないこと、サッカーが盛んで、サッカー中心になりがちなどの課題も多い。特に運営費の確保が厳しく、設立後3年に限り市で補助(15万円)しているとのことである。



藤枝市で説明を受ける文経委員



# 常任

# 行政視

## 厚生常任委員会

(5月8日～10日)

長野県東御市  
静岡県掛川市

### 介護予防、保健業務は 市民と一体となった取 り組み

東御市では、市内約70ある地区に呼びかけ福祉推進委員を任命し、その委員が中心となって地区民の健康管理事業が推進されていた。一般高齢者に対しては、プール教室、介護予防サロン等を通して介護予防に努め、特定高齢者の早期発見のための脳いきいき教室、足腰シヤンシヤン教室等を行っていた。

また、約5鈔ある「福祉の



掛川市徳育保健センターを視察する厚生委員

森」には、福祉センター、知的障がい者通所・授産施設、介護老人福祉施設、東御市立病院が整備されて、互いの連携のもとで福祉の充実を図っていた。

掛川市では保健業務の充実のために、人口割で保健活動推進員を委任し、地域の方々への受診よびかけや検診時の協力、研修会参加の働きかけを行っている。

徳育保健センター隣りに、三師会館（医師会、歯科医師会、薬剤師会）があり、行政と一緒に「私のかかりつけ手帳」の利用促進をはかり、市民の健康管理に力を入れている。

## 総務常任委員会

### 協働と共創のまちづくり

### 市民委員会の実践活動

大阪府河内長野市  
愛知県東海市

(5月15日  
～17日)

保健センターの一室に、病的障がい者通所・授産施設、介護老人福祉施設、東御市立病院が整備されて、互いの連携のもとで福祉の充実を図っていた。

また、保健活動推進委員には市立病院の普段見られないバックヤードの見学会に参加し、より良い市立病院にするための意見を出す機会を設けていた。

両市ともに、保健事業を市民と行政が一体となりすすめていた。

河内長野市は人口11万7800人の大阪の中核都市である。今回は市税のコンビニ納付について研修した。法令等の改正により、地方税収納事務の委託がコンビニ等でも可能になったことと、市庁内のホストコンピュータの入れ替えがあったこともあり、検討を重ね、まず平成18年度は軽自動車税のコンビニ納付を開始した。全国39の都道府県から納付があったとのことであり、山形県からも納付があった。コスト的には当初一通あたり百数十円かかる

ではなかったかと思っていたが、56円の収納代行料で済んだとのことである。19年度は市府民税、固定資産税、都市計画税でも行っているとのことである。

東海市は名古屋市の隣接する人口10万5800人の中核都市である。中部国際空港の開港で、工場立地が進み、誘致企業の好況もあって歳入の約70%が税収である。人口も急激に増えており、まちづくりの基本を市民との協働、共創によって市民の市政参画を積極的に進めているとのこと



河内長野市で説明を受ける総務委員

であった。

そのためにまちづくりの基本となる「東海市まちづくり基本条例」を制定し、市民の市政への参画を積極的に進め、公募による「市民参画推進委員会」を設置し、行政との共通認識、共通理解を図りながら、10年後、20年後のめざす価値を設定して、生活課題142をアンケート調査等から市民委員会が選出、事業の実施、事業の点検、評価、そして次年度への提案というサイクルで市民と行政が一体となった市政運営に取り組んでいる。



現職のころは、勤務の都合でなかなか市議会の傍聴はできませんでした。が、現役を退いてからは、できるだけ本会議を傍聴するように努めています。

6月定例会では、12日の午後からの一般質問を傍聴するため、市庁舎の議会棟に向かいました。正面のピロティから議場に向かうには3階建の階段を上り、さらに議場に入る狭くて急な階段を登らなければなりません。こうした環境は、なんとか改善して欲しいものです。

議場に入ると、傍聴者は自分を含めて3人だけでした。市民の関心が低いのが残念です。会議が始まると、「健康てんどう21行動計画について」「自治会活動保険について」「まちづくりの基本につ

## 市民の積極的な傍聴を促すために

古瀬 正勝 (久野本)

いて」などの質問が続きまし

た。いずれの質問も身近で興味深いテーマで、具体的に分かりやすい質問であり、これに対する市長の答弁も丁寧で、誠実さがうかがえました。

市議会での議員の質問は議会活動の中核を占めるものであり、質問に対する市長の答弁は今後の市政の方向を示すものです。

こうした議会活動に幅広い市民の傍聴があれば、議会の一層の活性化が図られるものと考えます。そのためには

①議会日程の積極的なPRを②議会日程と一般質問の内容について様々な方法・手段で市民にPRをはかる。

②傍聴環境の改善を③市民が傍聴しやすいように夜間・休日議会等を導入するとともに、傍聴席を利用しやすい環境に改める。このような改善策をお願いしたいと思います。

## 9月定例議会の日程(予定)

- 8月27日(月) 開会  
29日(水) 一般質問  
30日(木) 一般質問  
31日(金) 総括質疑  
9月3日(月) 各常任委員会  
4日(火) 各常任委員会  
5日(水) 各常任委員会  
11日(火) 最終日(閉会)

※請願の締め切りは、8月17日(金)正午までの予定です。

※なお、日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

## 永年勤続表彰

6月19日に開催された全国市議会議長会総会において、永年勤続者として次のとおり表彰されました。

○ 議員15年以上

片桐郁弥議員 梅津謙一議員 浅井健一議員 長岡 繁議員

## 感謝状

6月19日に開催された全国市議会議長会総会において、産業経済委員として会運営に貢献されたとして、感謝状が寄与されました。

小澤 精議員

## 市議選の伴走車自粛を申し合わせ

7月13日、各派代表者会を開き、9月16日告示、23日投票の市議選に立候補する現職議員は、選挙運動期間中の選挙カーの前後を走る伴走車について、交通渋滞の解消や安全確保を目的に、自粛することを申し合わせました。

## 編集後記

- 今回の定例会は、市民の皆さんにとってはさくらんぼの時期と重なるなか、議会傍聴に足を運んでいただき、ありがとうございます。
- 今年のさくらんぼの作況は「やや不良」という事で果樹農家には大変なシーズンとなりました。皆さまおつかれさまでした。
- 様々な視点より市政に対する質問が議論され、今後の市民生活に反映できるようにと思います。
- 天童市議会に対するご意見等ありましたらお聞かせ下さい。活気ある議会にしたいと考えております。

## 《議会だより編集委員会》

委員長 伊藤 和子  
副委員長 山口 桂子  
委員 小澤 精  
長岡 繁  
佐藤 正男  
木村 竹虎  
森谷仙一郎

